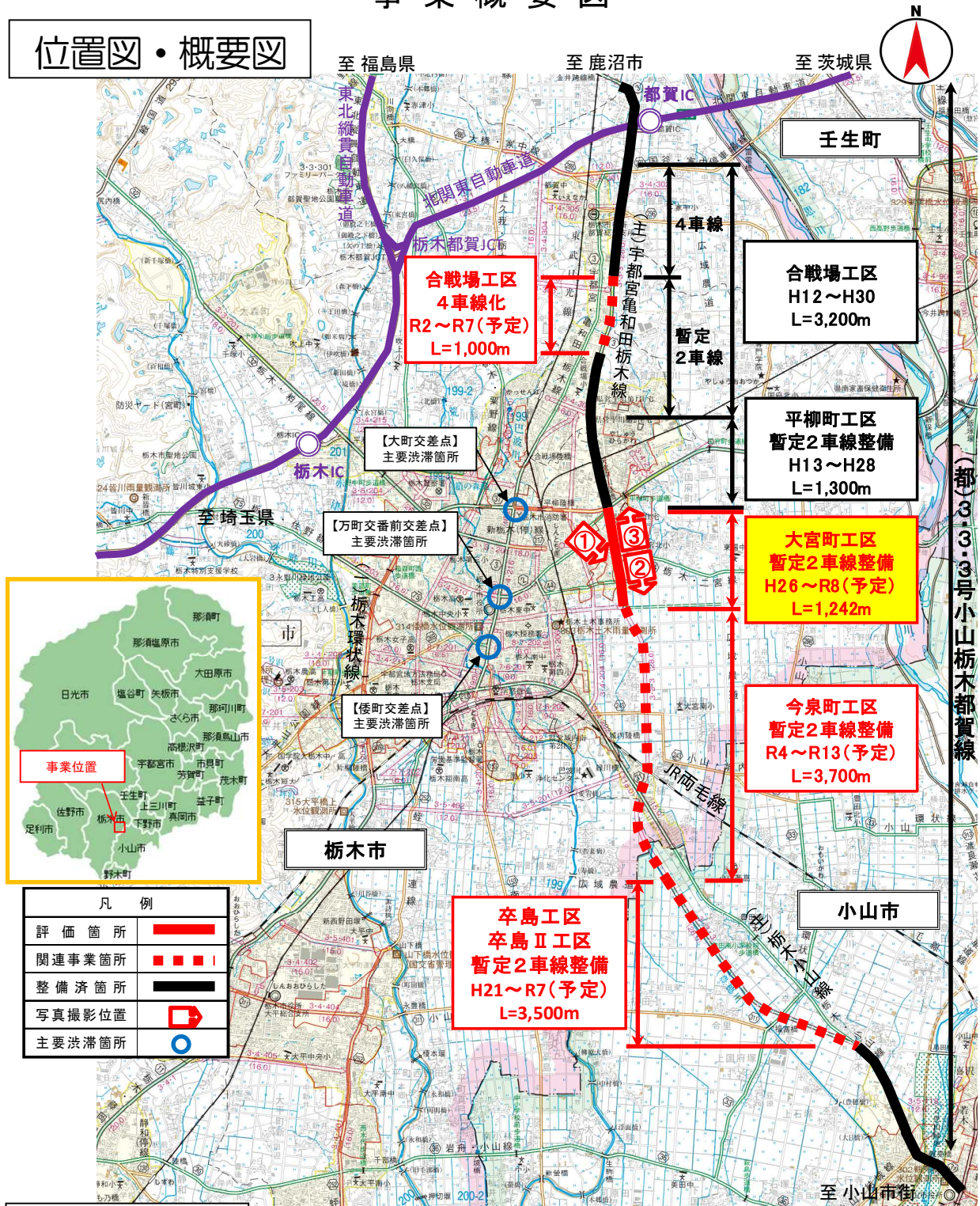


街路事業の再評価概要書			番号	1
()は前回計画時			事業主体	栃木県
事業名	街路づくり事業		事業所管課	県土整備部 都市整備課
路線・河川名	小山栃木都市計画道路 3・3・3号 <small>おやまともぎつが</small> 小山栃木都賀線		事業箇所名	栃木市 <small>おおみやまち</small> 大宮町
事業区間	栃木市 <small>いまいずみまちいつちようめ</small> 今泉町1丁目～ <small>ひらやなぎまちなんちようめ</small> 平柳町3丁目		事業延長	1,242m
H26年度 事業採択	H10都市計画決定 (H12、H25年度変更)		H27年度 用地着手	H30年度 工事着手
事業期間	(R3) H26年度～R8年度	事業 進捗 状況	基準年次：【令和3年度末時点】	
[うち用地補償費] 全体事業費	[23.3 (25.4)億円] 36.2(33.0)億円		[うち用地補償費] 既投資事業費	[22.6 億円] 32.6 億円
事業概要				
<p>小山栃木都市計画道路3・3・3号小山栃木都賀線は、小山市から栃木市東部を經由し、北関東自動車道都賀ICに至る延長約16.4kmの都市間の連携強化に資する都市計画道路である。</p> <p>事業箇所は、主要地方道宇都宮栃木線及び都市計画道路3・4・203号今泉泉川線を結ぶ区間であり、栃木市街地の外環状線の一部を担い、都市の外郭を形成している。</p> <p>現在、栃木市の市街地においては、東側の道路ネットワークが脆弱であることから、中心市街地に通過交通が流入し、大町交差点や万町交番前交差点などにおいて、朝夕を中心に慢性的な渋滞が発生している。また、大宮北小学校の通学路となっている市道は歩道が未整備であるため、自動車と通学児童等が錯綜し非常に危険な状況となっている。</p> <p>このため、小山栃木間の連携強化及び都賀IC等へのアクセス強化、中心市街地に流入する通過交通を分散し交通渋滞の緩和及び沿道環境改善、通学児童等の歩行者の安全確保を目的として、バイパス整備を行う。</p>				
事業を巡る社会経済情勢等の変化、技術革新、事業計画の大幅な変更等				
用地買収の遅れによる計画事業期間の延伸（R3→R8）				
事業の投資効果				
1 費用対効果分析結果		【総便益(B)】	【総費用(C)】	
(1)事業全体 B/C= 1.8		70.2億円	38.7億円	
(2)残事業 B/C= 22.9		70.2億円	3.1億円	
2 事業の整備効果等				
<ul style="list-style-type: none"> ・栃木市街地内の交通混雑の緩和と沿道環境改善 ・歩行者・自転車の安全で快適な通行空間の確保 ・都市防災機能の強化 				
事業の進捗状況等				
1 事業の進捗状況				
用地97%を取得済み				
工事78%（道路改良工事、歩道橋工事）を実施済み				
2 今後の事業進捗の見込み				
用地取得及び工事を推進し令和8年度の事業完了を図る				
コスト削減等				
1 コスト削減方策				
<ul style="list-style-type: none"> ・再生骨材、再生アスファルト合材を積極活用しコストを削減 ・建設発生土の公共工事間流用によりコスト削減 				
2 代替案立案等の可能性				
<ul style="list-style-type: none"> ・都市の骨格を形成する「外環状線」の一部として、都市計画の諸手続きを経て事業を実施しており、大部分の用地を既に取得していることから、代替案立案は困難である。 				
事業の対応方針(案)		現計画で事業を継続する。		

事業箇所

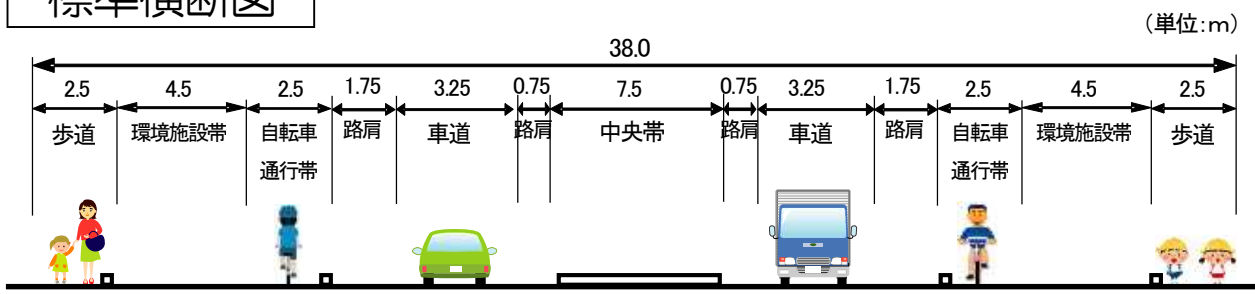
事業概要図

位置図・概要図



凡例	
評価箇所	
関連事業箇所	
整備済箇所	
写真撮影位置	
主要渋滞箇所	

標準横断図



写真①：通学時間帯の状況



写真②：事業区間写真（中間点から南を望む）



写真③：事業区間写真（中間点から北を望む）

